



平成 26 年 6 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 A. C ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 金井 壮
(コード：1783 ジャスダック)
問合せ先 経 営 企 画 部 黒澤 洋史
(TEL 03-5473-7722)

訂正有価証券報告書等の提出及び過年度決算短信等の一部訂正、
並びに平成 26 年 9 月期第 2 四半期報告書の提出及び四半期決算短信発表のお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 29 日に「過年度有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社の持分法適用関連会社である株式会社東京衡機（東証二部）が過年度の決算を遡及修正することに伴い、当社の過年度決算において計上されていた持分法投資損益等の金額を修正する必要が生じたため、当社においても過年度の有価証券報告書、四半期報告書及び決算短信等を訂正する事といたしました。

又、平成 26 年 5 月 8 日付「平成 26 年 9 月期第 2 四半期決算短信の発表の延期に関するお知らせ」、及び平成 26 年 5 月 12 日付「平成 26 年 9 月期第 2 四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、平成 26 年 9 月期第 2 四半期の四半期報告書の提出及び四半期決算短信の発表も延期することとしておりました。尚、当該四半期報告書提出の延期につきましては、平成 26 年 5 月 15 日付「平成 26 年 9 月期第 2 四半期報告書の提出期限延長に係る承認のお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、提出期限延長に係る承認を受けております。

当社はこれらの訂正有価証券報告書等及び平成 26 年 9 月期第 2 四半期報告書を提出し、過年度の決算短信等の訂正、及び平成 26 年 9 月期第 2 四半期決算短信を発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、提出時に当社の作業に手違いがあり時間を要してしまった関係上、一部報告書につきまして確認書の提出が出来ておりません。これらにつきましては、明日提出する予定であり、当局含めた関係各位には報告済みでございます。

1. 訂正の経緯及び理由

当社の持分法適用関連会社である株式会社東京衡機（東証二部）の平成 26 年 2 月期決算作業において、同社の連結子会社における固定資産の減損損失の認識の判定及び当該連結子会社への投融資の評価等に関して会計上の見積の誤り（誤謬）があったことが判明したことから、それらの事項について過年度に遡って会計処理を訂正し、過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等を訂正することとなりました。それに伴い、当社の過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等において計上されていた持分法投資損益等の計上額を修正する必要が生じたため、当社におきましても過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等を訂正することといたしました。

又、株式会社東京衡機の平成 26 年 2 月期決算作業において、上述の過年度決算訂正作業に伴い、同社の平成 26 年 2 月期決算作業にさらに時間を要することとなった為、同社の決算開示が遅延する見通しとなった事が判明致しましたことから、当社財務諸表において計上すべき持分法投資損益の金額が確定しない為、当社の平成 26 年 9 月期第 2 四半期における四半期報告書の提出及び四半期決算短信の発表も延期することといたしました。

今回の訂正による過年度業績等への影響につきましては、下記「4. 各連結会計年度及び事業年度の訂正の概要」のとおりであります。

なお、当社の平成26年5月30日付「持分法による投資損失（連結）の発生及び平成26年9月期第2四半期累計期間（連結・個別）、通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしました当社平成26年9月期第2四半期における持分法による投資損失の累計額1億20百万円は、株式会社東京衡機の平成26年2月期決算の実績により算出したものであり、株式会社東京衡機の過年度決算の訂正及びそれに伴い発生した当社の過年度決算の訂正の影響によるものではありません。

2. 訂正した有価証券報告書等

有価証券報告書 第66期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)
第67期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
第68期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)

四半期報告書 第66期第2四半期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
第66期第3四半期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
第67期第1四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
第67期第2四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
第67期第3四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
第68期第1四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
第68期第2四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
第68期第3四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
第69期第1四半期	(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

3. 訂正した決算短信等

決算短信 第66期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)
第67期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
第68期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)

四半期決算短信 第66期第2四半期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
第66期第3四半期	(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
第67期第1四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
第67期第2四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
第67期第3四半期	(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
第68期第1四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
第68期第2四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
第68期第3四半期	(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
第69期第1四半期	(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

4. 各連結会計年度及び事業年度の訂正の概要

(単位:百万円)

期	項目	連結		
		A	B	C
		訂正前	訂正後	訂正額 (B-A)
平成 23 年 9 月期 通期	売上高	2,882	2,882	-
	営業利益	▲ 556	▲ 556	-
	経常利益	▲ 507	▲ 603	▲ 96
	当期純利益	▲ 27	▲ 123	▲ 96
	総資産	9,142	9,049	▲ 93
	純資産	8,003	7,910	▲ 93
平成 24 年 9 月期 通期	売上高	3,284	3,284	-
	営業利益	▲ 290	▲ 290	-
	経常利益	▲ 491	▲ 460	31
	当期純利益	▲ 612	▲ 581	31
	総資産	8,631	8,569	▲ 62
	純資産	7,405	7,343	▲ 62
平成 25 年 9 月期 通期	売上高	3,143	3,143	-
	営業利益	▲ 143	▲ 143	-
	経常利益	▲ 166	▲ 154	12
	当期純利益	▲ 81	▲ 69	12
	総資産	8,398	8,353	▲ 45
	純資産	7,405	7,359	▲ 46
平成 26 年 9 月期 第 1 四半期	売上高	785	785	-
	営業利益	3	3	-
	経常利益	▲ 1	1	2
	四半期純利益	▲ 20	▲ 16	4
	総資産	8,378	8,332	▲ 46
	純資産	7,375	7,330	▲ 45

個別財務諸表への影響はございません。

5. 再発防止策

上記1に記載しました通り、今回発生しました当社過年度決算の訂正及び決算発表の遅延は、当社の持分法適用関連会社である株式会社東京衡機において発生した過年度決算の訂正に起因するものであります。同社は東証二部上場企業であります為、同社の内部統制に当社が一株主の権限を超えて深く関与することが必ずしも適切とは言いきれませんが、引き続き同社の提出する内部統制報告書並びに監査報告書を注視してまいり所存でございます。

当社におきましても今後同様の事態が発生しないよう、より一層の内部体制の充実を図ってまいります。

株主・投資家の皆様はじめ、お取引先及び関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

以上